

## 第4章 配偶関係

### 1 配偶関係別割合

#### 未婚率は男性が高く、死別率は女性が高い

平成22年の15歳以上人口（男性1,583,778人、女性1,592,823人）を配偶関係別にみると、有配偶者は男性が915,588人、女性は921,408人で、15歳以上人口に占める割合（有配偶率）は男女共に57.8%となっています。未婚者の割合（未婚率）は、男性が34.9%、女性が25.0%と、男性の方が高くなっています。一方、死別者の割合（死別率）は、男性が2.4%、女性が10.7%と、女性の方が高くなっており、これは、一般に男性は結婚年齢が高く、女性の平均寿命が長いことによるものと思われます。また、離別者の割合（離別率）は男性が3.2%、女性が5.0%となっています。（表4-1）

#### 未婚率は低下傾向、死別率、離別率は上昇傾向

配偶関係別割合の推移をみると、有配偶率は昭和30年（男性54.9%、女性55.8%）以降、男女とも上昇傾向を示し、男性は55年の64.1%、女性は50年の67.7%まで上昇しました。その後は低下傾向となり、平成22年は、17年と比べ、男性が57.8%と1.1ポイント、女性は57.8%と1.6ポイントの低下となっています。

未婚率は、男性が昭和40年の41.3%、女性は昭和35年の29.2%をピークに低下傾向となり、その後、男女とも一時的に上昇傾向を示しましたが、そして、男性は平成7年に、女性は12年に再び低下に転じましたが、22年は、17年と比べ、男性が34.9%と0.9ポイント、女性は25.0%と0.3ポイントの上昇となっています。

死別率は、昭和40年代以降、男性は1%台、女性は9%前後とほぼ横ばいで推移していましたが、平成7年以降は男女とも若干上昇し、22年は、17年と比べ、男性が2.4%と0.2ポイント、女性は10.7%と0.5ポイントの上昇となっています。

離別率は、昭和50年まではあまり変化はありませんでしたが、55年以降は男女とも上昇傾向にあり、22年は、17年と比べ、男性が3.2%と0.2ポイント、女性は5.0%と0.4ポイントの上昇となっています。（表4-1）

表4-1 15歳以上人口の配偶関係別割合の推移（大正9年～平成22年）

年次	配偶関係別割合							
	男				女			
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
大正9年	39.2	54.5	4.4	1.9	22.6	62.5	12.6	2.3
14年	35.5	57.8	4.9	1.8	19.9	65.5	12.8	1.9
昭和5年	37.2	57.4	4.3	1.2	23.7	62.7	12.3	1.4
10年	38.8	55.7	4.1	1.3	26.7	59.3	12.4	1.6
15年	41.7	53.3	5.0		27.8	58.2	14.0	
25年	39.4	56.1	3.6	0.9	27.8	56.1	14.2	1.8
30年	40.9	54.9	3.0	1.1	29.1	55.8	13.1	2.1
35年	41.2	55.2	2.5	1.0	29.2	56.9	11.7	2.1
40年	41.3	55.8	1.9	1.0	28.2	59.8	10.1	1.8
45年	38.2	59.3	1.6	0.9	24.8	63.9	9.5	1.9
50年	33.4	64.0	1.6	1.0	21.4	67.7	9.1	1.9
55年	32.4	64.1	1.6	1.2	21.9	66.7	8.9	2.2
60年	34.9	61.3	1.7	1.6	23.8	64.2	9.1	2.6
平成2年	36.7	58.9	1.7	1.8	26.1	61.6	8.8	2.7
7年	36.5	58.4	1.8	2.1	26.3	60.6	9.3	3.2
12年	35.1	58.6	2.0	2.6	25.7	59.9	9.7	3.8
17年	34.0	58.9	2.2	3.0	24.7	59.4	10.2	4.6
22年	34.9	57.8	2.4	3.2	25.0	57.8	10.7	5.0

## 2 年齢階級別配偶関係

### 30 歳代後半から 60 歳代前半の男性と 30 歳代後半から 40 歳代後半の女性で未婚率が特に上昇

15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男女共に 57.8%、未婚率は男性が 34.9%、女性が 25.0% となっています。

未婚率を平成 17 年と比べると、男性では 30 歳代前半から上昇しています。35～39 歳が 6.3 ポイント、40～44 歳が 6.5 ポイント、45～49 歳が 5.8 ポイント、55～59 歳が 5.4 ポイント、60～64 歳が 5.5 ポイントの上昇となっています。一方、女性では 20 歳代後半から上昇しており、特に 35～39 歳が 4.8 ポイント、40～44 歳が 4.5 ポイントの上昇となっています。

また、有配偶率をみると、平成 12 年以降、男性は 75 歳以上の階級以外の階級で、女性は 65 歳以上の階級を除き、低下しています。(表 4-2)

表 4-2 男女別 15 歳以上人口の年齢（5 歳階級）、配偶関係別割合の推移（平成 12 年～22 年）

男女、 年齢	未 婚			有 配 偶			死 別			離 別		
	平成 12年	17年	22年	平成 12年	17年	22年	平成 12年	17年	22年	平成 12年	17年	22年
男	35.1	34.0	34.9	58.6	58.9	57.8	2.0	2.2	2.4	2.6	3.0	3.2
15～19歳	99.6	99.7	99.1	0.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24	95.5	95.7	94.1	4.3	4.1	3.5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2
25～29	74.1	75.5	74.0	25.2	23.8	22.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.6
30～34	45.5	48.6	48.7	52.8	49.7	47.5	0.0	0.0	0.1	1.6	1.6	1.5
35～39	27.2	30.4	36.7	67.4	63.2	58.9	0.1	0.1	0.1	2.4	2.7	2.5
40～44	19.6	22.8	29.3	74.8	70.5	65.5	0.3	0.2	0.2	3.1	3.6	3.4
45～49	16.3	18.0	23.8	77.0	74.7	69.8	0.6	0.5	0.4	3.8	4.3	4.5
50～54	12.0	15.5	19.4	80.0	76.1	73.5	1.1	0.9	0.8	4.5	4.8	5.0
55～59	7.5	11.8	17.2	83.0	78.6	74.3	2.0	1.7	1.4	4.9	5.3	5.5
60～64	4.7	7.7	13.2	84.8	81.7	76.9	3.3	2.9	2.6	4.8	5.2	5.9
65～69	3.1	4.8	9.1	85.7	83.8	79.8	5.1	4.5	4.3	3.7	4.4	5.2
70～74	2.1	3.2	5.6	84.1	83.7	82.1	8.2	7.0	6.6	2.7	3.4	4.3
75歳以上	1.2	1.8	2.9	75.1	76.1	77.0	17.9	16.5	15.6	1.6	1.9	2.4
女	25.7	24.7	25.0	59.9	59.4	57.8	9.7	10.2	10.7	3.8	4.6	5.0
15～19歳	99.2	99.2	99.2	0.7	0.7	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24	90.9	91.3	91.3	8.7	8.1	7.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.5
25～29	55.5	61.0	62.8	42.8	37.2	34.1	0.1	0.1	0.1	1.6	1.6	1.6
30～34	26.6	31.4	34.6	70.1	65.1	61.3	0.1	0.1	0.1	3.0	3.3	2.9
35～39	14.2	17.9	22.7	79.9	75.4	71.5	0.4	0.3	0.3	4.4	4.9	4.6
40～44	9.1	12.3	16.8	84.2	79.4	75.3	0.9	0.7	0.6	4.9	6.3	6.3
45～49	6.8	8.7	12.7	84.7	82.0	77.4	1.8	1.5	1.3	5.8	6.7	7.6
50～54	5.8	6.7	9.3	83.4	82.3	79.3	3.4	3.0	2.5	6.4	7.0	8.0
55～59	4.4	5.8	7.4	81.6	80.3	78.9	6.9	5.5	4.8	5.9	7.2	7.9
60～64	3.9	4.4	6.3	77.0	77.4	76.6	12.7	10.5	8.4	5.1	6.5	7.8
65～69	4.3	3.9	4.9	68.6	71.2	71.7	21.1	18.0	15.5	4.5	5.4	6.6
70～74	4.6	4.2	4.4	55.8	60.4	63.2	33.3	28.9	25.5	4.3	4.5	5.2
75歳以上	2.7	3.7	4.4	25.9	29.8	33.1	64.4	59.5	54.6	3.2	3.6	3.8

### 3 行政区別の配偶関係

#### 男女とも中区、西区及び神奈川区で未婚率が高い

未婚率を行政区別にみると、男性は中区の43.2%が最も高く、次いで神奈川区の40.0%、西区の39.3%で、女性は西区の30.0%が最も高く、次いで中区の29.2%、神奈川区の28.7%となっており、上位の3区は男女とも同じとなっています。最も低いのは、男性は都筑区の28.7%で、次いで栄区の29.4%、泉区の30.3%で、女性は泉区の21.7%が最も低く、次いで瀬谷区の21.8%、都筑区の21.9%となっており、男女とも都筑区及び泉区が低くなっています。また、平成17年と比べると、男女とも中区及び南区の上昇が大きくなっています。

一方、有配偶率をみると、最も高いのは男女とも都筑区でそれぞれ65.2%、65.0%となっており、反対に最も低いのは、男性は中区の46.7%、女性では西区の50.9%となっています。平成17年と比べると、男性は神奈川区以外の17区で低下しており、女性は全ての区で低下しています。(表4-3)

表4-3 男女別15歳以上人口の未婚率及び有配偶率—横浜市・行政区(平成17年、22年)

行政区	平成17年				22年				平成17~22年の増減			
	男		女		男		女		男		女	
	未婚率	有配偶率	未婚率	有配偶率	未婚率	有配偶率	未婚率	有配偶率	未婚率	有配偶率	未婚率	有配偶率
横浜市	34.0	58.9	24.7	59.4	34.9	57.8	25.0	57.8	0.9	△ 1.1	0.3	△ 1.5
鶴見区	37.4	53.3	25.1	57.6	38.3	52.7	25.5	56.4	0.8	△ 0.6	0.4	△ 1.2
神奈川区	41.4	51.3	28.8	54.1	40.0	51.3	28.7	52.9	△ 1.4	0.1	△ 0.2	△ 1.1
西区	38.7	51.4	28.7	51.6	39.3	50.5	30.0	50.9	0.6	△ 0.9	1.3	△ 0.6
中区	37.1	49.4	27.0	53.6	43.2	46.7	29.2	51.7	6.1	△ 2.8	2.2	△ 1.9
南区	34.6	55.8	25.6	54.5	38.5	52.5	27.4	51.9	3.9	△ 3.3	1.9	△ 2.6
港南区	32.3	61.3	23.6	60.8	33.3	60.7	23.7	59.7	1.0	△ 0.6	0.0	△ 1.1
保土ヶ谷区	35.2	57.2	24.8	57.5	36.4	55.7	25.2	55.6	1.2	△ 1.5	0.4	△ 2.0
旭区	31.5	61.0	23.0	59.9	31.9	60.5	22.8	58.1	0.4	△ 0.5	△ 0.2	△ 1.9
磯子区	32.0	60.4	24.2	57.9	33.8	58.1	24.2	56.4	1.8	△ 2.2	△ 0.0	△ 1.5
金沢区	32.8	60.7	24.4	59.8	32.5	60.5	23.9	59.0	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.9
港北区	37.8	56.2	27.8	58.3	38.7	54.5	28.6	56.4	0.9	△ 1.7	0.8	△ 1.9
緑区	33.5	60.8	23.9	60.9	33.6	60.0	23.3	59.3	0.1	△ 0.7	△ 0.6	△ 1.6
青葉区	31.1	64.1	24.8	63.5	32.9	62.8	25.6	61.8	1.9	△ 1.3	0.8	△ 1.7
都筑区	28.6	65.7	21.2	67.2	28.7	65.2	21.9	65.0	0.2	△ 0.5	0.7	△ 2.1
戸塚区	32.0	62.6	23.2	62.2	32.1	61.8	22.9	61.1	0.1	△ 0.8	△ 0.3	△ 1.1
栄区	30.2	64.3	23.3	62.3	29.4	63.9	22.0	61.7	△ 0.8	△ 0.4	△ 1.3	△ 0.6
泉区	29.7	64.6	21.9	62.9	30.3	63.1	21.7	61.0	0.6	△ 1.5	△ 0.2	△ 1.9
瀬谷区	32.3	61.0	22.0	60.2	31.8	60.0	21.8	57.9	△ 0.5	△ 1.1	△ 0.1	△ 2.3